

美術科 年間指導計画（1年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力							現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力																								
		<言語能力>							<自分づくり>																								
美術科と関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力							豊かな表現を工夫する力 考えの妥当性や信頼性を吟味する力																								
学習指導要 領における目 標		知識及び技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。							自分らしさを発揮しようとする姿勢 夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢																								
月		4月		5月		6月		7月		8・9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		時数合計									
1年		美術との出会い P 2-5 中学校美術の世界へようこそ P 6-7		絵や彫刻との出会い あなたらしさを見つけて P 10-11		見つめると見えてくるもの P 12-13 鉛筆で描く/水彩で描く P 60 色彩の基本・仕組み P 70-72		なぜか気になる情景 P 16-17 遠近感を表す P 6 2		鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう P 26-27		美のタイムトラベル P 28-29		デザインや工芸との出会い 人との暮らしを豊かに P 38-39		印象に残るシンボルマーク P 44-45		自然の美しさから生まれた P 54-55		学びの言葉 松任谷由実 P 5 発想・構想の手立て P 58-59		文字っておもしろい P 42-43 文字の基本 P 63		暮らしに息づく土の造形 P 52-53 焼き物を作る P 67		屏風、美のしかけ P 32-37		広がる模様の世界 P 40-41		材料に命を吹き込む P 20-21		標準授業時数：45h	
配当時間		1		1		6		6		1		1		1		4		1		1		4		6		1		5		6		45	
知識及び技能		<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【造形遊びをする活動の技能】制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。</p> <p>【技能】・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表すこと。 ・材料や用具の特徴などから制作の順序などを考えながら、見直しをもって表すこと。</p>																															
資質・能力の 三つの柱		<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【絵画・彫刻】ア 対象や事象を見つめ感じ取った形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに構想を練ること。</p> <p>【デザイン・工芸】ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 使う目的や条件などを基に、使用するものの気持ち、材料などから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>【美術作品に関する鑑賞】ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて、考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p> <p>イ 目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p> <p>【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】ア 身の回りにある自然物や人工物の形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げること。</p> <p>イ 身近な地域や日本および諸外国の文化遺産などのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化について考えるなどして見方や感じ方を広げること。</p>																															
学びに向かう 力、人間性等		・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。																															
内容（キーワード・授業展開の卵）		・見かたを変えて発見する ・3年間の流れの把握		・身近な小さなもの（シャーペン、筆記具、紙切れ）を見つめていないに描く		・写真を撮る 取捨択一 見ながら表現する ・ハッチングなどで質感や明暗を表現 ・水彩で描く パレット・筆・筆洗・技法		・撮影→スナップ→理由（2つの遠近法〈線・空気〉）		・感じたことを言葉で思いを読み取る		・原始表現の迫力と生命力 ・用の美 飾る 伝える 使う		・テーマから発想して整理する		・らせん ハニカム 組子 自然の造形美		・学びの姿勢を学ぶ マッピング アイデアスケッチ テーマ決め 方向転換		・デザインの工夫と印象の違い 明朝・ローマン 絵文字とロゴタイプとオノマトペ		・土の特性と作品の手触り ・道具 工程 成形の種類 施釉		・屏風という形と用途を生かしたデザイン 風神雷神図屏風 俵屋宗達 燕子花園 尾形光琳		・模様のルーツ 植物や自然界の物をどのように変化したのか ・単位形と並べ方		・あるがままの形から自由に発想する 特徴を生かす					
単元目標・到達目標		見慣れた作品を鑑賞して、その作家の作風や自然を見つめるまなざしに触れることにより、美術へのオリエンテーションとする		3年間の学びの説明		身近なものの愛着のあるものを見つめ、感じ取った形や色彩、明暗、質感などの特徴や美しさを基に主題を生み出し、表現方法を工夫して絵で表現する。		見慣れた情景の気になる場所やものを見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、場所のイメージから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫して絵で表現する。		見かたや感じ方を広げ、深めるために、作品から感じ取ること、生活の中の形や色彩から感じ取ること、美術文化や伝統から学ぶことを見方や感じ方を広げる。		形や色彩、模様、材料や場所に着目し、原始的な造形的なよさや美しさ、人々の思いや作者の意図と工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。		3年間でどのような資質・能力が得られるかが示されている。デザイン・工芸には「飾る」「伝える」「使う」の3つの目的や機能があること。		伝えた内容やイメージを基に、象徴するものや形、色彩の効果を考え、材料や用具などを工夫してマークをデザインする。		自然物を発想の源としてつくられたものや自然の造形を生かした建築の装飾の工夫や美しさを感じ取り、生活の中での美術の働きを理解する。		イメージや伝えたい内容が、相手にわかりやすく伝わるよう、形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。		土が持つ素材のよさを生かし、用途や機能と美しさなどを考え、土の生かし方や用具などを工夫し焼き物を作る。		屏風の表現のよさや美しさ、折ることで生まれる立体感や見え方の変化を感じ取るなどして見方や感じ方を広げる。		目的や条件などを基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴を捉えて構成を工夫してデザインする。		材料の形や色彩、質感などからイメージを広げて主題を生み出し、材料の組み合わせ方や用具を工夫して立体で表す。					

美術科 年間指導計画 (2年)

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		＜言語能力＞						＜自分づくり＞					
美術科に関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力		豊かな表現を工夫する力		自分らしさを発揮しようとする姿勢		夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢					
		伝え合うことで自分の考えを深化させる力		考えの妥当性や信頼性を吟味する力		伝え合うことで自分の考えを深化させる力							
		目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力				さまざまな情報を活用・選択する力							
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。											
	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
2年	学びの実感と広がり 上2-5 あなたの美の見つけて 上6-7 この教科書で学びみなさんへ 上8-9	視点の冒険 上12-13	つくって使って味わう工芸 上42-43 木で作る 上57	手から手へ受け継ぐ 上32-33 受け継ぐ伝統と文化 下53	浮世絵はすごい 上24-29 北斎の大波 上54	文化の出会いがもたらしたものの 上30 日本の美術と世界の美術の出会い 上60-63	ジジジカピカポッポッパッ 上36-37	瞬間の美しさを形に 上10-11 人物を作る 上56	なんでこれが美術なの？ 上22-23 学びの言葉 岡本太郎 上5 岡本太郎「芸術はみんなのもの」 上51	ひと目で伝えるための工夫 上38-39 色彩の特徴を深く知る 上64	水と筆を操る 上20-21 水墨画の表現 上55	暮らしやすさのデザイン 上44-45	標準授業時数：35h
配当時間	1	5	6	1	1	1	3	7	1	6	2	1	35
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	<p>【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【造形遊びをする活動の技能】 制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。</p> <p>【技能】 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表すこと。</p>											
	思考力、判断力、表現力等	<p>【共通事項】 ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【絵画・彫刻】 ア 対象や事象を深く見詰め感じ取ったこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p> <p>【デザイン・工芸】 ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会とのかかわりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 使う目的や条件などを基に、使用するもの立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>【美術作品に関する鑑賞】 ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】 ア 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>											
	学びに向かう力、人間性等	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。											
内容 (キーワード授業展開の卵)	・実物大の作品から表現の本質をつかみ取る ・美を発見するよるこび	・視点の変化と印象の違い	・材料や技法の特徴と作品の形や使用方法とのつながり 打ち出して切っ曲げる 風神雷神図屏風 俵屋宗達 紅白梅図屏風 尾形光琳	・伝統工芸の技と心 南部鉄器のアラレ 草木染め 織り ・江戸時代の版画 版元→絵師 →彫り師→摺師	・日本とヨーロッパ	・光の効果、演出 自然の光 人工の光	・動勢の美	・意外さ 新たな価値観 ・パブリックアート ・生き続けることと芸術表現	・サインデザイン ビクトデザイン 視覚伝達	・水墨画の世界観 濃淡 にじみ ほかし かすれ	・使う人の身になって デザインコンセプト (制作意図) とプレゼンテーション (伝達)		
単元目標・到達目標		普段とは違った視点から身近な風景を見つめ、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、構図の工夫や効果などを考え、材料や用具の特性を生かして創造的に絵や写真で表す。	材料の特性や機能性を生かして作ることに関心を持ち、材料のよさや美しさ、使う場面や機能などをとくに主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見直しを持ってデザインし表す。	工芸作品や技の素晴らしさに関心を持ち、形や色彩、材料、技法、作風や印象などを捉え、人の手による技の素晴らしさや作品の美しさ、作者の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める。	浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	ジャポニズムの表現の特色や時代背景などに関心を持ち、作品の特徴や日本美術の作風がどのように生かされているかなどを捉えね表現の特色や美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術を通じた国際理解、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。	光や影の効果を生かしたデザインに関心を持ち、空間の美しさや使う場面などを基に主題を生み出し、光の形や色彩の変化、空間に与える印象などを捉え、見直しをもってデザインし表す。	瞬間の人の動きに関心を持ち、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、形や重心の効果、動きの感じ、躍動感などを捉え、材料の特性を生かして創造的に立体で表す。	現代美術に関心を持ち、もの場所、大きさ、形や色彩、制作の様子などに着目し、イメージを捉えるなどしながら、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などについて考えるなど見方や感じ方を深める。	ピクトグラムやデザインに関心を持ち、伝えたい内容やイメージ、伝える場所などを基に主題を生み出し、形や色彩などによる伝達の効果を考え、見直しを持ってデザインし表す。	墨などで表すことに関心を持ち、表したいもののイメージを基に主題を生み出し、濃淡や線などの効果をj考えて表現の構想を練り、墨の特性を生かして創造的に絵で表す。	使う人の立場や気持ち考えたデザインに関心を持ち、機能と美しさの調和、使う人や場所などを基に主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし、見直しを持ってデザインし、表す。	

美術科 年間指導計画（3年）

学校で育成を目指す 資質・能力		学習の基盤となる資質・能力						現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力					
		<言語能力>						<自分づくり>					
美術科と関連付けた 資質・能力		事実等を解釈し自分の考えを形成する力 豊かな表現を工夫する力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 考えの妥当性や信頼性を吟味する力 目的や意図に応じて伝えるべきことを理解する力						自分らしさを発揮しようとする姿勢 夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 さまざまな情報を活用・選択する力					
学習指導要 領における目 標	知識及び技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。											
	思考力、判断力、表現力等	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。											
	学びに向かう力、人間性等	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を培う。											
月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計	
3年	学びの探求と未来 下P2-5 学びの言葉 井浦新 下5 この教科書で学ぶみなさん	あの日を忘れない 下24-29	空想は現実を超えて 下12-13	笑顔が生まれる鉄道デザイン 下46-47 受け継ぐ伝統と文化 下53	仏像に宿る心 下30-31 (仏像の種類/美術文化の継承 下54)	私の色 みんなの色 下36-37 布を染める 下56	日本の世界文化遺産 下52 今を生きる私 下8-11	さまざまなアートに触れよう 下50-51	魅力を伝えるパッケージ 下38-39 色彩の特徴を深く知る 上64	心がほっと なごむもの 下42-43	あなたへ 明日への巣立ち 下60-61	標準授業時数：35h	
	配当時間	1	2	7	1	2	4	1	7	1	3	5	1
資質・能力の 三つの柱	知識及び技能	<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【造形遊びをする活動の技能】制作活動を通して、材料や用具を活用するとともに、過去の経験や技能を総合的に生かしたり方法などを組み合わせたりするなどして、活動を工夫して制作すること。</p> <p>【技能】材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すこと。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えながら、見直しをもって表すこと。</p>											
	思考力、判断力、表現力等	<p>【共通事項】ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。 イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。</p> <p>【絵画・彫刻】ア 対象や事象を深く見つめ感じ取ったこと、夢、創造や感情などの心の世界などを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。</p> <p>【デザイン・工芸】ア 構成や装飾の目的や条件などを基に、用いる場面や環境、社会とのかかわりなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>イ 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから、主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。</p> <p>ウ 使う目的や条件などを基に、使用するもの立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p> <p>【美術作品に関する鑑賞】ア 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。</p> <p>【生活の中の美術や美術文化に関する鑑賞】ア 身近な環境の中に見られる造形的な美しさなどを感じ取り、安らぎや自然との共生などの視点から生活や社会を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p> <p>イ 日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気付き、美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めること。</p>											
	学びに向かう力、人間性等	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。											
内容（キーワード授業展開の卵）	・サグラダファミリア 美の探求 ・本物を見極める力 ・より自分らしい表現を目指して	・忘れてはいけない出来事を描きとめる	・表したいイメージをアイデアスケッチや言葉を使いまとめる	・列車のデザインは旅の舞台 ・旅は、地方文化との交流 ・その地方の伝統的な材料や技法	・人々の折りの姿 ・様式美	・身にまとうものの色彩効果 ・染色技法 ・絞り ステンシル スタンプ	・社会人として基礎知識 ・誇り	・中3の時間を描きとめる ・自分との対話時間	・空間を共有する美術作品	・包装紙や包装容器を装飾する 商品や中身との関連性 ・色相による配色 トーンによる配色 ほか	・遊び心と温かみ	・学びを次につなげていく	
単元目標・到達目標	絵に込められた作者の訴えたいことなどに関心を持ち、造形的な美しさを感じ取り、社会における美術の力について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	空想や夢、心の中の世界などから主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に絵で表現する。	デザイナー・水戸岡鋭治の鉄道デザインを通して、地域の特徴を取り入れたデザインの仕事やその世界観を感じ取り、デザインが社会に果たす役割などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。	顔や手の表情がもたらす効果による全体のイメージなどを捉え、仏像彫刻の特徴よさ美しさに関心を持ち、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深める。	染色の技法を生かして表現することに関心を持ち、使う場面飾る場面から主題を生み出し、形や色彩、染色の技法効果を考えて、材料や用具の特性を生かし自分の表現方法を追求してデザインする。	自分の心の中を見つめ、自分らしさや個性から主題を生み出し、構図や表情などの効果を考え、絵の具や用具などの特性を生かし意図に応じて創意工夫して絵や立体に表現する。	伝える目的や条件、中身のイメージなどから主題を生み出し、意図に応じて表現方法を創意工夫してデザインする。	使う人への気持ちや場面、楽しさなどから主題を生み出し、材料や用具の特性を生かし見直しを持って創造的に表す。					

美術科 年間指導計画 (橘中学校)

月	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時数合計				
1年	美術との出会い P 2-5 中学校美術の世界へようこそ P 6-7	絵や彫刻との出会い あなたらしさを見つけて P 10-11	見つめると見えてくるもの P 12-13 鉛筆で描く/水彩で描く P 60 色彩の基本・仕組み P 70-72	なぜか気になる情景 P 16-17 遠近感を表す P 62	鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう P 26-27	美のタイムトラベル P 28-29	デザインや工芸との出会い 人との暮らしを豊かに P 38-39	印象に残るシンボルマーク P 44-45	自然の美しさから生まれた P 54-55	学びの言葉 松任谷由実 P 5 発想・構想の手立て P 58-59	文字っておもしろい P 42-43 文字の基本 P 63	暮らしに息づく土の造形 P 52-53 焼き物を作る P 67	屏風、美のしかけ P 32-37	広がる文様の世界 P 40-41	材料に命を吹き込む P 20-21	標準授業時数：45h
	配当時間	1	1	6	6	1	1	1	4	1	4	6	1	5	6	45
2年	学びの実感と広がり 上2-5 あなたの美の見つけて 上6-7 この教科書で学ぶみなさんへ 上8-9	視点の冒険 上12-13	つくって使って味わう工芸 上42-43 木で作る 上57	手から手へ受け継ぐ上32-33 受け継ぐ伝統と文化 下53	浮世絵はすごい 上24-29 北斎の大波 上54	文化の出会いがもたらしたものの 上30 日本の美術と世界の美術の出会い 上60-63	ジジジチカピカ ポッポツパツ 上36-37	瞬間の美しさを形に 上10-11 人物を作る 上56	なんでこれが美術なの？ 上22-23 学びの言葉 岡本太郎 上5 岡本太郎「芸術はみんなのもの」上51	ひと目で伝えるための工夫 上38-39 色彩の特徴を深く知る 上64	水と筆を操る 上20-21 水墨画の表現 上55	暮らしやすさのデザイン 上44-45	標準授業時数：35h			
	配当時間	1	5	6	1	1	1	3	7	1	6	2	1	35		
3年	学びの探求と未来 下P 2-5 学びの言葉 井浦新 下5 この教科書で学ぶみなさんへ	あの日を忘れない 下24-29	空想は現実を超えて 下12-13	笑顔が生まれる鉄道デザイン 下46-47 受け継ぐ伝統と文化 下53	仏像に宿る心 下30-31 (仏像の種類/美術文化の継承 下54)	私の色 みんなの色 下36-37 布を染める 下56	日本の世界文化遺産 下52	今を生きる私へ 下8-11	さまざまなアートに触れよう 下50-51	魅力を伝えるパッケージ 下38-39 色彩の特徴を深く知る 上64	心がほっと なごむもの 下42-43	あなたへ 明日への巣立ち 下60-61	標準授業時数：35h			
	配当時間	1	2	7	1	2	4	1	7	1	3	5	1	35		